

### プラントづくりに いつも 新しい第一歩を...

「気密性」「メンテナンス性」  
「耐食・耐薬品性」に優れた  
ダイヤフラムバルブ

空気操作弁:  
PO1400N形

化学・水処理・鉄鋼・船舶・電力など製造設備のプロセスに最適なバルブです

**NDV** 日本ダイヤバルブ株式会社  
営業本部: TEL.03-3490-4801 FAX.03-3490-7950  
www.ndv.co.jp (東京本社・大阪支店・名古屋営業所・岡山営業所・北九州営業所)

### ヒーター応用例 Heater Application example

## えっ! こんな所に O&Mヒーター

「サイズも形状も」・表面温度200℃まで可能です。| 半導体製造装置のバルブ・ガス配管  
「柔軟性が有り、軽重タイプです。」  
「自由自在」・1枚からオーダー承ります。| シリコンラバーヒーター

**オエムヒーター株式会社**  
TEL.0120-800-255  
TEL.(052)804-3140  
FAX.(052)804-3146  
https://www.om-heater.jp

### 試作～量産・調達・素材開発支援

## KITAMURA FAUCET

鍛造 切削加工 調達 アッセンブリ

株式会社キタムラフォーセット | kitamura-faucet.co.jp  
〒501-3217 岐阜県関市下有知字池の上5523-3 TEL: (0575)23-7820

3月21日は、日本バルブ工業会(西岡利明会長=SANE I社長)が制定したバルブの日。1954年3月21日に同会が発足したことに由来する。「流体制御の要」とも称されるバルブは高い品質、安全性、信頼性が求められる機器。古代エジプトやローマの遺跡からもその原型とされる遺物が見つかっており、歴史は紀元前までさかのぼる。時代の変化とともに進化を遂げてきたバルブは、水道インフラ、石油・電力プラントから、半導体製造、航空宇宙分野まで、幅広い産業と社会を支えている。

これは第22回「超」モノづくり部品大賞の「機械・ロボット部品賞」に選ばれた高スループット型プロセスガス供給バルブだね!

このバルブは 半導体製造装置へプロセスガスを高速かつ安定的に供給するため新設計した

**高速 安定**

続きはこちら

### 流体とともに 未来を創る

## 挑戦

国内営業本部  
東京支社/TEL.(03)5568-9220 FAX.(03)5568-9225  
本社 〒105-7305 東京都港区東新橋一丁目9番1号  
東京汐留ビルディング  
営業網/札幌・仙台・さいたま・東京・千葉・横浜・茅野  
新潟・富山・静岡・名古屋・大阪・岡山・広島・福岡

### 記念日登録証

一般社団法人日本バルブ工業会 様

名称 バルブの日  
日付 3月21日

上記の記念日を正式登録する  
2024年3月4日  
一般社団法人 日本記念日協会  
代表理事 加藤清志

バルブのイメージキャラクター「ばるちゃん」(©日本バルブ工業会)

「見えないところ」で活躍

ごあいさつ

日本バルブ工業会 会長 西岡 利明

### 「中計I」総仕上げ

日頃より、日本バルブ工業会「V80 ステージI」会員の期の活動に格別なご高配を賜り、待以上に満足度の高い工業会を厚く御礼申し上げます。私たちが「目指して」の最終年度となりまして、2026年度は、24年。そして来年度から始まる「V80 ステージII」へとバトンをつなげる重要な年となります。

ステージIにおいて、私たちが次の4項目を重点課題として掲げています。

- ① サステナブルなバルブ業界へ
- ② 次世代人材育成と働きやすい職場へ
- ③ 情報・事業の活性化による認知度・満足度向上
- ④ 業界ネットワーク、産官連携強化による地位向上

これら課題の解決に向けて取り組みを一層強化するとともに、期待される以上の成果を得られるよう、工業会メンバーとなり精進していくつもりです。どうぞよろしくお願いたします。

結びに、皆さまのますますのご隆盛とご多幸を心より祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

減を目指す。25年12月には製品単位のCO2排出量を示す「カーボンフットプリント(CFP)」の算定ガイドラインを制定。第一弾では、水道管や住居の給水栓などの「給水用具」を対

### ライブ配信セミナー 配管・バルブの選定とトラブル対策

日刊工業新聞社は27日10時から17時まで、ライブ配信セミナー「配管・バルブの選定とトラブル対策～現場で起きた故障事例と対処法～流す!止める!漏らさない!バルブを制するものは設備を制する!」を開催する。

配管を構成する部材の中で「唯一制御できる機器」であることから、トラブルが集中するというバルブ。元キッツ技術本部の小岩井隆氏を講師に迎え、シンプルな構造でありながら奥深い、バルブ技術と製品について解説する。仕様の不一致や腐食、摩耗、劣化など、実際の現場で起きたトラブル事例とその対処法についても話す。

同セミナーはウェブ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナー。受講料は4万6200円(資料代・消費税込み)。申し込み締め切りは26日17時まで。問い合わせは日刊工業新聞社事業推進部セミナー係(03-5644-7222)へ。

# 3月21日 バルブの日

### 半導体用 急伸

モノづくり最先端を支える

バルブは流体を流す・止める、逆流を防止する、量を調整するといった重要な働きを担う。配管内を通るのは水だけでなく、熱湯や蒸気、食品の原料、薬品、ガソリン、液化ガス...と多岐にわたる。パッキンやパッキンなど「見えないところ」で活躍するまさに縁の下の力持ちだ。

需要部門別の出荷実績(日本バルブ工業会調べ)によると、2022年度は上位3位を建築設備用、上下水道用、一般化学用が占めていた。対して、24年度には、一般化学用を抜いて半導体用が3位に入るなど、最先端のモノづくりを支える機器としての存在感を近年高めている。

日本バルブ工業会では、3カ年中期活動計画「V80」を策定し、さまざまな課題解決に向けた取り組みを進めてきた。特に業界全体が環境経営やサステナビリティ(持続可能性)を掲げる中、同会も脱炭素化や環境負荷の低減を目指す。

25年12月には製品単位のCO2排出量を示す「カーボンフットプリント(CFP)」の算定ガイドラインを制定。第一弾では、水道管や住居の給水栓などの「給水用具」を対

「写真1」定期ミーティングや見学会、セミナーなど「バルブ」を専門とする「女性史」をテーマとした。17年発足の「バルブ女性史」をテーマとした。17年発足の「バルブ女性史」をテーマとした。17年発足の「バルブ女性史」をテーマとした。

「写真2」バルブ技術や製品に関するノウハウを、動画でウェブサイトに解説

「写真1」定期ミーティングや見学会、セミナーなど「バルブ」を専門とする「女性史」をテーマとした。17年発足の「バルブ女性史」をテーマとした。17年発足の「バルブ女性史」をテーマとした。

## つくるチカラ×まもるチカラ

**TVE 株式会社 TVE**

本社 〒660-0054  
兵庫県尼崎市西立花町五丁目12番1号  
TEL:06-6416-1184  
FAX:06-6416-1305

Challenge for the NEXT

▶ 各種バルブの製造販売及びメンテナンス、各種鋳鋼製品の製造販売

これまでの100年から次の100年へ  
この100年、TVEは高温・高圧をキーワードにお客様ニーズを満たすバルブを供給し続けてきました。

次の100年も世界トップクラスのバルブ技術開発力で、水素やアンモニア発電、次世代原子力などの新設計のバルブ開発をおこない続けます。

https://www.tovalve.co.jp/

## 世界へ昇る技術で 最先端を創造する

創業以来、専門性の高い独自の技術をもってニッチな市場で事業を展開。極めてユニークな企業グループとして、狭い需要ながら確実に必要とされる製品やサービスと真摯に向き合ってきました。

これからも「はじめて」に挑み「違い」をつくる™ことで進化し、ニッチ市場を極める探究者 "Great Niche Explorer™" であり続けます。

**旭有機材株式会社**  
https://www.asahi-yukizai.co.jp